

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
こころとからだしくみⅢ Physical and Emotinal machanisms Ⅲ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程必修)	福祉や心理の初学者を想定している。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目や心理学。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金（授業時間と学生相談時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
この科目では、「こころとからだのしくみ」のうち、主に心理的側面を扱う。①心理学の基礎的理論や心理学の諸領域、②コミュニケーション、③集団行動、を主たる授業内容として、人の心の理解と、人とかかわるための基礎の習得を図る。				
授業の目標				
①自己理解と他者理解のための心理学基礎理論を学び、自己や他者を理解する方法を身につけることができるようにする。②グループ活動体験を通してコミュニケーションについて学び、援助に必要な態度をとることができるようにする。				
授業の方法				
講義形式と、グループワークなどの参加型形式。				
学習の成果（学習成果）				
この授業に積極的に参加することによって、①人間理解のための基礎的知識と理論を実践的に使うことができる。②将来の介護職として、他者とのかかわりの中で他者の心情に配慮した対応をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：授業概要や目標、成績評価と受講上のルールを説明する。自己紹介文作成と発表。			
第2回目	グループ活動① クラス全員と話す。自分の思考や対人認知の傾向を知る。			
第3回目	グループ活動② グループでの話し合い。メンバーの前で意見を述べる。メンバーの意見を聴く。			
第4回目	グループ活動③ グループ内の意見をまとめて発表する。			
第5回目	表情とことばのエクササイズ。			
第6回目	人の感覚のズレや個人差を知る。			

第7回目	新規場面での行動と慣れ。	
第8回目	記憶と忘却のしくみ。	
第9回目	さまざまな自己表現。アートセラピー。	
第10回目	性格とアセスメント。心理検査のメリットとデメリット。	
第11回目	グループ活動④ メンバーが協力して一つの問題を解決する。	
第12回目	ストレスのしくみと対処法。	
第13回目	コラージュ体験。	
第14回目	高齢者の心理。	
第15回目	介護の事例を考える。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	60%	グループ活動に積極的に参加しており、意見を述べたり、他の参加者の意見を引き出す働きかけをしている。講義ではしっかりノートテイクし、不明な点を質問しようとする。
レポート	40%	授業の振り返りのために実施する。授業の目的を把握し、授業内容に沿った内容構成で、学んだことを論理的に記述している。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
必要に応じて資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的な参加を期待する。		